

いる。この取り組みは、防災性の向上や景観の改善を目的としており、地中化技術を活用することで、災害時の通信網の損傷リスクを軽減している。無電柱化事業は長期に及ぶことが多いが、工期を短縮する技術開発を行い、事業の迅速化を図っている。

さらに、NTTでは他事業者との協力体制にも取り組んでいる。

2020年にはKDDIとの連携協定を締結した(図表1-5-50)。これに基づき、2024年1月の能登半島地震では、両者が共同して海上の船上基地局を運用した。具体的には、NTTワールドエンジニアリングマリナーが運用する海底ケーブル敷設船「きずな」に、NTTドコモとKDDI両社の基地局設備を搭載し、陸路が断たれて早期復旧が困難な被災地に対して、船上から携帯電話サービスを提供した。

加えて、2024年12月には、KDDIに加えてソフトバンク及び楽天モバイルも参画した大規模災害時の協力体制を構築した。これには、各社のアセット(事業所、宿泊場所、

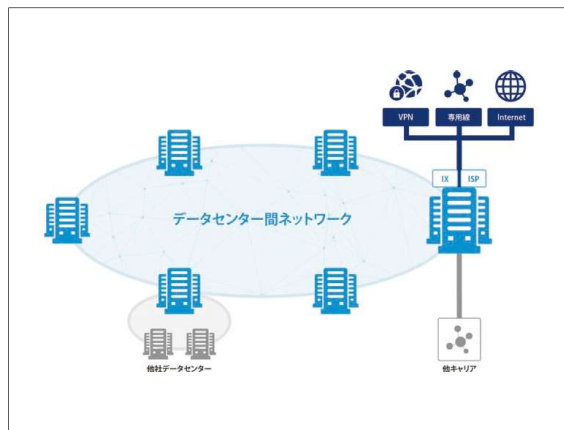
資材置き場、給油拠点など)の共同利用、NTTグループ及びKDDIが保有する船舶の活用(両社の既存の協力体制にソフトバンク及び楽天モバイルが新たに参画)、モバイル通信事業者と固定通信事業者の連携強化が盛り込まれている(図表1-5-51)。

(4) 防災研究所の設立

NTT東日本は、地域防災の新たな仕組みを研究・実装する専門組織「防災研究所」を2025年4月1日に設置した(図表1-5-52)。気候変動による災害の激甚化・頻発化や人口減少に伴う担い手不足といった課題に対し、官民の知見と先端テクノロジーを結集し、強靱で持続可能な地域防災モデルを創出・普及させることが狙いである。

同研究所はグループの人材・アセット、現場で培った災害対応力を核に、外部団体とも連携して自治体の災害対応をトータルに支援する。具体的には、被害・避難状況の高精度予測や災害対策本部運営の最適化に関する研究、

図表1-5-46 ▶ Nexcenter データセンター間ネットワーク



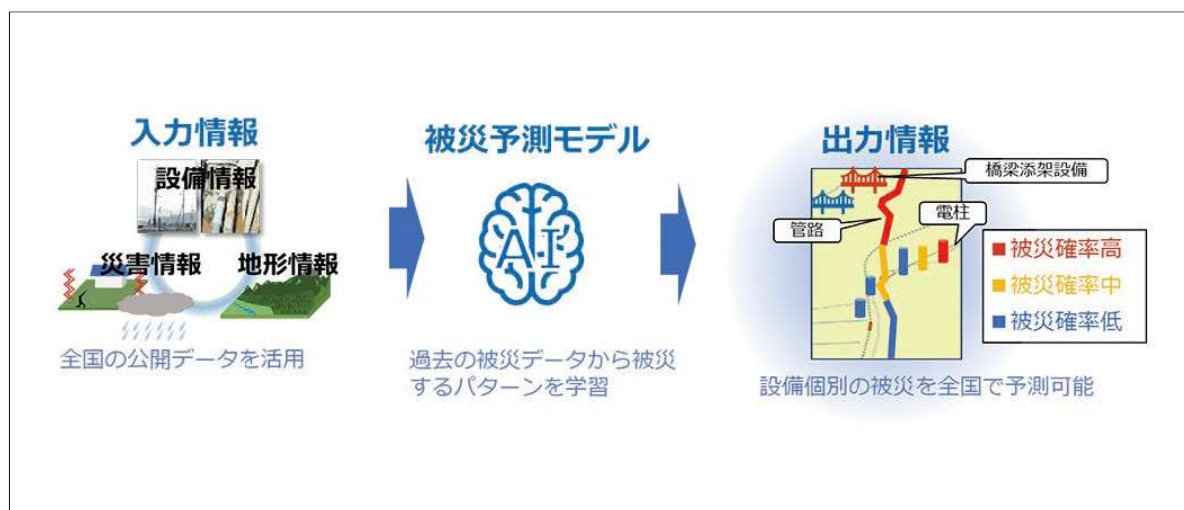
出所：NTTドコモビジネス「Nexcenter データセンター」

図表1-5-47 ▶ 電気自動車から基地局への電源供給実証実験



出所：NTTドコモ、NTT、日本カーソリューションズ「電気自動車を活用した基地局電源救済システムの実証実験を開始～ AI配車計画で停電時もスピーディーな給電で安心・安全な通信サービスを提供～」(2024年1月12日)

図表1-5-48 ▶ 被災予測AIの概要



出所：NTT「多様な災害に対するインフラの被災予測AIを構築～インフラ強靱化と災害復旧の早期化を実現～」(2024年4月25日)